

チャペル週報

No. 12

2014. 6.23 ~ 6.27

イエスは言われた。

「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのものに来なさい。休ませてあげよう。」

(マタイによる福音書11章28節)



西宮上ヶ原キャンパス ランバス記念礼拝堂

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

6月23日(月) 神 〈説教学演習A〉 榮 巖 (神学研究科M1)
経 舟 木 謙 (宗教主事)
人 福 居 誠 二 (人間福祉学部教授)
聖和 聖書物語 ダビヤ王・ソロモン王
理 前 川 裕 (宗教主事)

6月24日(火) ランバスチャペルアワー ランバス記念礼拝堂 (西宮上ヶ原)
神 ランバスチャペルアワーに合流
文 森 田 雅 也 (文学部教授)
社 「自由」をめぐる③ 柳 澤 田 実 (神学部准教授)
法 音楽賛美シリーズ1 聖歌隊
経 経済と人間① 小 林 伸 生 (経済学部教授)
商 山 本 俊 正 (宗教主事)
国 ゴスペルクワイア “P.O.V.”
聖和 手話部 たんぽぽ
総 バロックアンサンブル

6月25日(水) 神 神学部教員による連続チャペル「伝道者教育の現在」柳 澤 田 実 (神学部准教授)
社 チャペル・コンサート Jazz 研究会JAM
English Chapel “Absolute Love” 水 戸 孝 道 (法学部教授)
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (宣教師)
商 山 本 俊 正 (宗教主事)
人 遠 藤 知 子 (人間福祉学部助教)
国 平 林 孝 裕 (宗教主事)
聖和 ヒューマンサービスセンター 学童保育ひまわり
理 上 内 鏡 子 (神戸イエス団教会牧師)
総 村 瀬 義 史 (宗教主事)

6月26日(木) 神 ゴスペルクワイアによる音楽礼拝
文 Andreas Rusterholz (宗教主事)
社 「自由」をめぐる④ 稲 増 一 憲 (社会学部准教授)
法 栗 林 輝 夫 (宗教主事)
経 経済と人間② 加 藤 雅 俊 (経済学部准教授)
商 音楽チャペル Jazz研究会JAM
国 杉 山 直 人 (学部長・国際学部教授)
聖和 子どもを受け入れる者 Ruth M. Grubel (関西学院院長)
総 自立生活センター メインストリーム協会

6月27日(金) 院 打 樋 啓 史 (社会学部宗教主事)
神 〈説教学演習A〉 確 井 英 俊 (神学研究科M2)
文 English Chapel Andreas Rusterholz (宗教主事)
経 経済と人間③ (最終回) 井 口 泰 (経済学部教授)
人 井 出 浩 (人間福祉学部教授)
聖和 ピンチもチャンス 中 川 香 子 (聖和短期大学教授)
理 前 川 裕 (宗教主事)

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂 (上ヶ原)
6月27日(金) 聖和幼稚園のために 出 原 大 (聖和幼稚園園長)

125周年にあたって

西 岡 稔

現在担任している中学部の2年生が、秋に奈良の史跡を見学する。そんな折、開館間もないあべのハルカス美術館で東大寺展が開催されることを知り、早速行ってきた。ハルカスの呼び物である展望台が相当な混雑だったのに比べ、美術館の方は予想外に人出が少なく、ひとつひとつの作品をゆっくりと鑑賞することができた。

誕生釈迦仏をはじめ、貴重な歴史遺産の数々を見ることができたが、なかでも特に印象に残ったのが、鎌倉時代につくられた俊乘房重源上人坐像（国宝）である。当時一流の康慶一派の手になるともいわれるこの像を見ていると、治承4年の兵火で炎上した東大寺を復興するため、諸国をあまねく勧進した上人の強固な意志が伝わってくる。

今日では、著名な美術作品や貴重な文化財もネット上で見るのが可能になった。わざわざ美術館に足を運んでチケットを買わずとも、自宅で居ながらにして鑑賞・見学ができると思うと、つい美術館や博物館からも足が遠のきがちであった。しかし、自宅に戻って再度コンピュータの画面上で見た重源上人像の印象は、美術館で見た本物の迫力にはやはり及ばない。「見る自分自身」と「見られる対象物」、その間に何かが介在するかしらないかの差が、おそらくその違いを生むのだろう。

家では娘がパソコンを前に大学の履修登録を行い、配信される成績に一喜一憂している。予備校や大学でのWEB講座も今ではめずらしいことではない。教育の世界も、もはやネット社会と無縁では存在し得ない感がある。しかしそのような時代にあっても、教育の場から師弟の直接の関わりが消え去ることはないだろう。中学部は本年度、かつての各学年男子4学級から、全学年が男女6学級となり、共学校としての完成年度を迎えた。学院は今年、創立125周年の節目を迎える。中学部そして学院全体が大きく成長した今、あらためて教え、学ぶことの原点を見つめなおすことの意義を感じている。

(中学部教諭)

●夏の献血週間のお知らせ

学生会宗教総部では、夏の献血週間を実施します。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

期 間：6月23日(月)～27日(金)

受付場所：吉岡記念館ラウンジ

主 催：宗教総部献血実行委員会

●ランバスチャペルアワー

学生たちが企画するチャペルです。今後の予定は以下のとおりです。

6月24日(火) 10:35～11:05

10月21日(火) 10:35～11:05

11月18日(火) 10:35～11:05

いずれもランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー 14 階の大阪梅田キャンパスでは、授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを実施します。(18:00～18:20 1405教室)

主題：「ペンテコステ(聖霊降臨祭)を覚えて」

6月26日(木) Jeffrey Mensendiek(宗教センター宗教主事)

主題：「夏休みを前にして」

7月3日(木) 田淵 結(宗教総主事)

7月10日(木) 山本俊正(商学部宗教主事)

7月17日(木) 舟木 讓(大学宗教主事)

●夕べの祈りatランバス～テゼの音楽とともに～

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら、皆でこころ静かに過ごす夕べの祈りのひとときです。どなたでもご参加ください。

第3回 7月3日(木) 18:30～20:00

ところ：ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

主 催：夕べの祈り準備会(学生有志)

協 力：関西学院宗教活動委員会

●関西学院会館の日曜礼拝

授業期間中の第二・第四日曜日に、教職員と学生有志による礼拝が行われます。一部英語を用いるバイリンガル形式です。どなたでも参加できますのでどうぞお越しください。

7月13日(日) 10:00～11:00

関西学院会館ベーツチャペル

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室内の宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

●盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様温かいご協力をお願いいたします。